

平成

×

えほん

平成から、新しい年号へバトンタッチ！

みんなが生まれた平成。どんな絵本に出会えたのかな？



チャイルズタイムス～みのがせないしんぶん～

No.328 2018.12月

はっこう：さがみおおのとしよかん

でんあ：042-749-2244

平成をふり返ったときに、小さな絵本ブームがありました。
 「大人の絵本ブーム」と「読み聞かせ絵本ブーム」です。
 それは、平成12年(2000年)「子ども読書年」からの読書活動の広がりです。

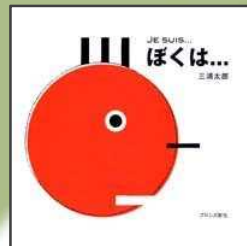
*

絵本はその時代を写しだします。
 今を生きる大人が、今を生きる子どもたちに向けて送りだした絵本をみていきましょう。

こっきょう 国境を超えた絵本作り

絵本ブームの影響を受けて、絵本作家になりたい人が多くなりました。イタリアのボローニャ・ブックフェアなどで注目されて、他国でデビューした後に、日本で紹介される「逆輸入絵本」もあらわれました。

えほんE 『ぼくは...』
 三浦 太郎/作
 ブロンズ新社
 平成17年(2005年)



国際デビュー、初の日本語版。自分の中にいるいろいろな自分?!

えほんE/ベビー・アオ 『のりものつみき』
 よねづ ゆうすけ/作
 講談社 平成23年(2011年)



韓国の作家が「戦争と空腹のために苦しみながら死んでいったすべての子どもたちに」ささげる本とした。

英仏独語版の後に、日本語版が出版。しかくく、つみあげられたカラフルなつみきが、いろいろ形をかえていく。

えほんE 『とうきび』
 クオン・ジョンセン/詩
 キム・ファンヨン/絵
 おおたけ きよみ/訳
 童心社 平成28年(2016年)



また、想いを共にする他国との共同出版も行われ、「日・中・韓 平和絵本」は、三つの国の絵本作家と出版社が協力し合い、平和をテーマにした絵本をそれぞれの言語で同時に出しています。



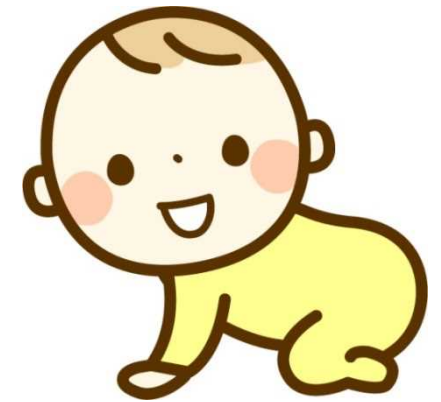
えほんE 『へいわってどんなこと?』
 浜田 桂子/作 童心社 平成23年(2011年)

日本の作家が「へいわ」ってなんだろう?と、やさしいことばでかたりかける。

赤ちゃん絵本の広がり

乳児との心ふれあう楽しいひとときを感じ、親子のコミュニケーションを育む一つの手がかりとして、絵本に注目が集まりました。

多くの出版社が、赤ちゃん絵本に取り組み始めました。表現も内容もバラエティに富んだ目新しい作品が次々と誕生しました。



えほんE/ベビー・モモ 『コップちゃん』
 中川 ひろたか/ぶん
 100%ORANGE/え
 ブロンズ新社 平成15年(2003年)



赤ちゃんの身近なものが登場。表情ゆたかなコップちゃんが楽しい。タテ書きの文字も新しい。



擬音語のみで表された絵本。太い線と鮮やかな色が赤ちゃんの目をひきつける。

えほんE/ベビー・チャ 『まり』
 谷川 俊太郎/文
 広瀬 弦/絵
 クレヨンハウス
 平成15年(2003年)

えほんE/ベビー・モモ 『あっ!』
 中川 ひろたか/ぶん
 柳原 良平/え
 金の星社
 平成20年(2008年)



「あっ!」と発見。ページをめくると、その乗り物。次は、その乗り物の擬音。リズムとページがみごとにピッタリ。

えほんE/ベビー・モモ 『くっついた』
 三浦 太郎/作・絵
 こぐま社
 平成17年(2005年)



はなれていた動物が、ページをめくるとくっついた。くっつくってしあわせ!

3.11 を乗り越えて～希望へ

平成 23 年（2011 年）3 月 11 日におきた東日本大震災。

この災害をどのように子どもたちに伝え、このつらい体験をした子どもたちに、どうよりそっていけるのか？たくさんの絵本作家たちが、それぞれの方法を考えながら、発信しています。

そうして生まれた絵本には、災害の現実をリアルに描いたもの、勇気づけようとするもの、不安やまよいを共有しようとするもの、かけがえのない日常を大切なものにとらえるもの、自然の力を見直し、現代社会のあり方を問い直すものがあります。

これらの絵本を受け取ることは、この災害を乗り越え、新たな希望へとふみ出す一歩となるはずです。

えほん[E] 『つなみてんでんこ
はしれ、上へ！』

指田 和/文 伊藤 秀男/絵
ポプラ社 平成 25 年(2013 年)



えほん[E]

『ハナミズキのみち』

浅沼 ミキ子/文
黒井 健/絵 金の星社
平成 25 年（2013 年）

「つなみてんでんこ」は、東北地方の方言で「それぞれがにげて、自分で自分のいのちをまもる」の意味。大つなみを生きのびた釜石の小・中学生の実話。

つなみで息子をなくした母親が「いのちを守る木を植えたい」という思いを後世に伝えるために……。



ギャグで子どもたちを笑顔にした「ラーメンちゃん」。作者が手作りし、読み聞かせた絵本が、後日出版された。

えほん[E]

『おじいさんとヤマガラ
3 月 11 日のあとで』

鈴木 まもる/作・絵
小学館 平成 25 年(2013 年)



えほん[E]

『ラーメンちゃん』

長谷川 義史/作
絵本館
平成 23 年（2011 年）



ヒナの巣立ちを見守ってきたおじいさん。原発事故が起こり、心配が現実となった。

参考資料：「日本の子どもの文学～国際子ども図書館所蔵で見る歩み」

（国立国会図書館国際子ども図書館/編集・発行）